

主催：特定非営利活動法人いわむろや



市内の農産物を販売する直売コーナーとアートが交わる場

## 日常と芸術の架け橋となる場づくり

岩室温泉の玄関口として、市内中心部と温泉地の誘客・対流を生み出し、交流人口の増加を図ろうと、施設内に地域のクリエイターによる空間演出（木調の明るく優しい雰囲気や電球を下げて温かみを出す演出など）を行い、日常と芸術の架け橋となる場をつくりだした。空間演出は、特にお客様が集まる地域商品のPRスペースを中心に設えを施し、市内の農産物を販売する直売コーナーとアートが交わる場づくりにこだわった。芸術祭開催記念として、新潟市の酒蔵銘柄の日本酒のディスプレイも行った。併せて、地域拠点プロジェクトの一つとして、芸術祭活動の情報発信や市民プロジェクトの広報サポートを行った。

スタンプラリー利用者も含め、多くの芸術祭鑑賞者が訪れた。当館で開催された『盆踊り』や『いわむろロックFESTIVAL2018』等のイベント来場者にも観ていただいた。来場者からは「空間が明るくなった」「商品

などが見やすくなった」と好評だった。

観光施設内の空間の創造性のなさ、地域観光および誘客の低迷、都市対流が希薄、観光地としての発信の脆弱さなど様々な課題がある。一方で、インタープリターとなる人材やアート領域への地域ぐるみでの関心の高さなど、これまでに培った潜在的資源がある。今回、芸術祭活動と温泉地の連携を計り、市内での誘客・対流を促すこと、観光客と芸術・地域（ローカルエリア）と芸術祭の架け橋となる場づくり、拠点整備として誘客を含めたトータルなまちづくり活動を目指した。今回のプロジェクトで、また一つ観光施設としての質を上げることができた。今後もこの空間を活用し、“にしかん”の良さを伝えるとともに、アート・美術にも積極的に関わっていきける施設づくりを行ってきたい。

●7月14日(土)～10月8日(月・祝) 空間演出（新潟市岩室観光施設いわむろや）